

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

□ 動詞が目的語（必ず名詞）をとるとき、その動詞を〈他動詞〉という。

□ 動詞が目的語をとらないとき、その動詞を〈自動詞〉という。

We know _(O)each other. 「私たちはお互いを知っている。」 - ① (第3文型: SVO)We communicate _(M)with each other. - ② (第1文型: SV)cf. We communicate with _(O)each other. - ③ (*解釈上の第3文型)

「私たちはお互いにコミュニケーションをとっている。」

①の動詞 know は、名詞句 each other 「お互い」を目的語 (O) にとっている。よって、他動詞。

②の動詞 communicate には目的語がない。よって、自動詞。

with each other 「お互いに」は、前置詞 with に導かれる副詞句 (M: modifier 「修飾語句」)。

(※原則として、前置詞に導かれる句は副詞句と判断するとよい。)

ただし、前置詞に続く名詞を〈前置詞の目的語〉という。つまり、③のように、

□ 「自動詞は、前置詞を続けることによって目的語をとることがある」、といえる。

□ 同じ動詞でも、自動詞にも他動詞にもなることがある。

I walk for 30 minutes every morning. 「私は毎朝30分歩く。」 - ④ (第1文型: SV)

I walk _(O)my dog for 30 minutes every morning. 「私は毎朝30分、犬の散歩をする。」 - ⑤

(第3文型: SVO)

④の動詞 walk 「歩く」には目的語がない。よって、自動詞。

for 30 minutes 「30分間」と every morning 「毎朝」は、それぞれ〈時〉を表す副詞句。

⑤の動詞 walk は「歩かせる」の意味で、目的語は my dog 「私の犬(を)」。

A 演習 1: 基本問題

目的語(句)を指摘し、さらに日本語に訳しなさい。

例 He doesn't know me.

「彼は私を知らない。」

1. He runs a pet shop.

「

2. She enjoyed herself at the party.

「

3. The girl looked at the price tag for a while.

「

4. Never give up your dream.

「

演習 1: 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. a pet shop 「彼はペットショップを経営している。」
※ run は自動詞で「走る」、他動詞で「経営する」の意味。2. herself 「彼女はパーティで楽しい時を過ごした。」
※ enjoy は原則他動詞。enjoy oneself 「楽しい時間を過ごす」。at the party は場所を表す副詞句。

3. the price tag 「その少女はしばらくの間、値札をじつと見ていた。」 ※ look at ~ 「~を(詳しく)見る、

調べる」は、この句で1つの他動詞と判断する。for a while 「しばらくの間」は時を表す副詞句。

4. your dream 「夢を決してあきらめるな。」 ※ give up 「~をあきらめる、やめる」で1つの他動詞と判断する。

【重要】大切なのは、他動詞・自動詞の見極めではなく、動詞に目的語があるのかわからないか、あるとすればどれか、どんな形になっているのか、を正しく判断することである。

B 演習 2：基本問題 目的語がある場合にはそれを指摘し、さらに全体を日本語に訳しなさい。

1. A black car stopped in front of my house.

「

」

2. The police officers stopped the truck.

「

」

3. He reads three books a week.

「

」

4. The sign reads “NO PARKING.”

「

」

5. I think that this test is too hard.

「

」

6. This music file sells well.

「

」

7. We have to discuss the problem now.

「

」

8. My uncle looks a little like Colonel Sanders.

「

」

演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 目的語なし。「1台の黒い車がうちの前で止まった。」
※ stop は、目的語がないので自動詞「止まる」。in front of my house 「私の家の前で」は場所を表す副詞句。

2. the truck 「警官たちはそのトラックを止めた。」
※ stop は、目的語 the truck があるので他動詞「止める」。

3. three books 「彼は週に3冊本を読む。」 ※ read 「読む」は目的語があるので他動詞。a week 「1週間につき」は〈頻度〉を表す副詞句。

4. “NO PARKING” 「標識には『駐車禁止』と書いてある。」 ※ 他動詞 read には「表示する」という意味があり、ここではその内容である引用符で囲まれた部分が目的語。

5. that this test is too hard 「このテストは難しすぎると私は思う。」 ※ think は他動詞として、that 節を目的語にとる。that 節全体は、目的語なので名詞（節）。

6. 目的語なし。「この音楽ファイルはよく売れる。」
※ sell は、他動詞では「(人や店が) 売る」、自動詞では

「(ものが) 売れる」の意味。ここでは目的語がないので自動詞。well 「よく」は、動詞を修飾する、程度を表す副詞。

7. the problem 「私たちはその問題を今、話し合わなくてはならない。」 ※ discuss は他動詞で「議論する」の意味。「～について話し合う」という日本語表現から、^x discuss about とする誤りが目立つが、他動詞なので前置詞は不要。now は時を表す副詞。

8. Colonel Sanders 「私の叔父は少しカーネル・サンダースに似ている。」 ※ look like ～ 「～のように見える、～に似ている」で、この句で1つの他動詞と判断する。a little 「少し」は程度を表す副詞（句）で、この句動詞の間に挿入されている形。look like を1語で表す resemble も覚えておこう。My uncle resembles Colonel Sanders. のように表現する。「～に似ている」という日本語表現から^x resemble to とする誤りが多いが、目的語を直接とる他動詞である。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/4
B	/8

検印